

日時 令和6年7月17日(水)

午後1時30分～午後3時

会場 佐久市保健センター2階

1 開 会

2 あいさつ 原委員長

3 会議事項

(1) 「生涯学習関連講座・イベント等」について

委員長

事務局より説明をお願いします。

事務局

資料1をご覧ください。こちらの資料は前回の第1回会議で間に合わなかったので今回ご説明いたします。各課で令和5年度に開催した、生涯学習関連講座・イベント等の実績報告です。合計で600以上と数が膨大なため、各課のイチオシ事業をお聞きして記載しています。

資料2をご覧ください。令和5年10月の社会教育委員会議で委員の皆さんに意見をお聞きした「デジタル活用に係るアンケート」について、令和6年2月～5月にかけて実施しました。集計結果が出ましたので、共有いたします。各項目の割合については資料通りですが、自由記載欄では高齢なのでスマホが使えないという意見もある中、スマホ講座を希望しているコメントも多く、スマホや新しいシステムに向き合って利用したいという意向も見受けられます。以上2点についてご質問や不明点があればご連絡ください。後日個別でお答えします。

(2) 「居場所」について

委員長

事務局より説明をお願いします。

事務局

まずは現在活動している「居場所」というテーマについてこれまでの経緯をおさらいします。

令和3年7月の社会教育委員会議にて、委員の皆さんにテーマ決めの1歩目として、日頃から

感じている「地域や活動の中で抱えている課題・問題点」を挙げていただきました。

令和3年12月の会議では、ワールドカフェ方式で話し合いを行い、社会教育委員会議の活動テーマを決定しました。それが「みんなの『居場所』について考える」というテーマです。

「居場所」に関連して、コミュニティ・スクール（以下CSと記載）、多世代交流、子育て支援の3つのグループに分かれ、グループごとに調査活動を進め、それぞれの調査活動の成果を会議にて報告していただき、全体での情報共有を図ることとしました。前任期終了時に多世代交流グループの委員は全員交代となったため活動を終了し、令和5年7月からは2グループで活動し今にいたります。

約3年に渡り「居場所」の活動をしてきましたが、これまでのまとめや成果を発表・報告等をする終着点を考える時期だと考えます。そこで、令和7年5月頃に行う今任期の最終会議で教育長や教育委員をお呼びして、成果報告と市政への提案を行うのはいかがでしょうか。

以上を踏まえ、本日話し合っていたいただきたい内容は次の2点です。

- ・活動の終着点をどうするか
- ・終着点に向けたスケジュール

委員長

それではグループワークに移ります。時間は40分間です。後ほど各グループの代表者に話し合った内容を発表していただきますので、代表者も決めておいてください。それでは始めます。

～グループワーク～

委員長

時間になりましたので、発表に移ります。まず子育て支援グループの代表者は話し合った内容について発表をお願いします。

代表者

子育てグループは約2年近く、自主的に集まって色んな事を話し合ってきました。最初は様々な悩みに対応した相談先が分かるような「マップ」を作ろうとしました。今はマップをカードサイズで作ろうと、昨年度の社会教育委員と教育委員さんとの意見交換会ではサンプルを見てもらいました。「マップカード」を作成し、コンビニ等に置いてもらおうという話し合いまでしており、最終的に提言や報告をするという形になると思っていなかったのが、戸惑っているところです。

このグループの一番重視している問題点としては困っている子どもたち又は保護者が、どこかへ相談した時に「その内容はここではありませんよ」とたらい回しにされることが嫌だなと感じ、「こういうことで悩んでいる人はここへどうぞ」というものを作りたい、ということがスタートでした。子どもたちにも色んなフリーダイヤルが載ったパンフレットを学校で配られると思いますが、佐久市内でも相談できる素晴らしいところがあるので、佐久市の中限定でそういうものを見つけて教えてあげたい、たらい回しにしてほしくない、そういう思いで活動してきました。

相談先については探し尽くしていて、ワンストップで相談が完結する相談先を探してましたが、該当の場所はありませんでしたので、市で相談をワンストップ化できる場所を作って欲しい

いという要望があります。

掲載する相談先は子どもが対象なのか、保護者が対象なのかを決める必要があるということ
を話し合ったところです。以上です。

委員長

子育てグループについては先に進んでいないように見えて、やっていることはすごく大事な
テーマだと思います。次回の教育委員との意見交換会ではその悩みもお話していただけたらと
思います。

次にCSグループの代表者をお願いします。

代表者

明日7月18日に各学校のコーディネーターさんと教頭先生をお呼びしたCS関係者会議を教育会
館で開催するので、主にその打合せを行いました。最初に社会教育委員で趣旨をご説明し、CS
の事例のDVDを流し皆さんに見てもらいます。4つのグループに分かれて自己紹介をしながら、
各学校の取り組みなどを話していただきます。東信教育事務所から県の職員さんも来ていただ
けるので、最後に県の事例紹介をしていただく予定です。

次にCSのまとめと言いますか、進む方向ですが、「CSを色んな人に知ってもらいたい、次世
代につなげたい」ということをテーマとして大事にしていきたいと思います。そのためにはコ
ーディネーターとの会議は大事だなと続けていきたいなと思います。会議を通して佐久市の状
況を知れる機会を作れたらと思います。

(3) 社会教育委員だより「そよかぜ」について

委員長

事務局より説明をお願いします。

事務局

前回の会議で社会教育委員だより「そよかぜ」の各号でテーマを決め、それに沿って原稿を
書くということが決定しました。今回はそのテーマを何にするかグループワークで話し合って
意見をいただきたいと思います。最後に、皆さんにご提案いただいた中からテーマを決め、原
稿担当者も決めたいと思います。

委員長

それではグループワークに移ります。時間は5分間です。それでは始めます。

～グループワーク～

委員長

時間になりましたので、発表に移ります。まずCSグループの代表者は話し合った内容について
発表をお願いします。

代表者

一つ目は、社会教育委員としての任期が長い委員もいるので、社会教育委員の歴史のようなこれまで社会教育委員がやってきたことについてのテーマという意見がありました。

二つ目は、他の委員会等からあて職として社会教育委員になっている方もいるので、それぞれの立場から見た社会教育委員というテーマもいいのではないかという意見が出ました。

共通するのは社会教育委員という活動を知ってもらって、皆さんに理解してもらおうという機会にしたいという点です。以上です。

委員長

続いて、もう一方のグループお願いします。

代表者

話し合いで出た意見では、やっている活動を知ってもらいたいということと、原稿を載せるのではなくて、座談会形式で喋っている内容を文字起こしして、会議の感想や考えたことを話してみても面白いのではないかという意見が出ました。

委員長

事務局からは何かありますか？

事務局

話し合いの中で、「そよかぜってどこに配置しているのか、誰が見ているのか」という声がありました。現在そよかぜは各支所や公民館、図書館に置いていますが、実際に手にとってもらうことが少ないというのが現状です。事務局の方でも市民の皆さんの目につきやすく手に取ってもらえるような場所に置くことも検討していこうと感じました。

委員からの発言

各戸の回覧で周知したりはできないのでしょうか。部数を増やして目につく機会を増やすことも大事だと思います。

事務局

そよかぜのみで回覧というのは難しいかもしれませんが、例えば、ホームページでもそよかぜを公開しているので、ホームページを更新したタイミングで広報のお知らせページ等に掲載するのは可能だと思います。

以前、そよかぜに「こどもカフェ」のことを原稿で載せた際、それを見た方が「自分で作った野菜をこどもカフェに提供したい」といった問合せもあったので、読んでいる人がゼロというわけではないと思います。

委員長

まとめますが、2グループの発表で共通していたことは「社会教育委員のことを知って、関心を持ってもらいたい」ということでした。原稿は会話方式のように、読んでみたくなるような書き方を工夫してみる。公民館に10年以上携わっている方もいるので、社会教育の繋がりみたいな記事もいいと思います。

事務局

それでは、次の社会教育委員だより「そよかぜ」では「それぞれの個々の活動から見た社会教育」というテーマで4名の方に原稿をお願いしたいと思います。

～原稿担当者4名が決定～

事務局

それでは、原稿担当者の方には個別で締切や原稿の様式をご連絡いたします。

(4) その他

・事務局より連絡

上田市立第六中学校のサポートルームに見学へ行きたいというご要望が以前から上がっております。先日、上田市立第六中学校へ電話で確認してみたところ、「見学については受け付けているので、候補日を連絡してもらえれば見学受け入れ可能日を調整する」とのことでした。今後皆さんのご予定もお聞きして、9月以降に見学に行ければと考えております。その際は日程調整等のご協力をよろしく申し上げます。

4 閉会